

荒川の豊かな自然「三ツ又沼ビオトープ」は、流域の学校や園、企業や団体などが関わることで、守られています。11~12月に行った皆さんの取組みをご報告します！

荒川ハンノキ・プロジェクト 荒川の草花を育てようプロジェクト



近隣の小中学校等と連携して、自然を守る2つのプロジェクトを実施しています。『荒川ハンノキプロジェクト』は、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどす取組みです。『荒川の草花を育てようプロジェクト』は、外来植物が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取組みです。

上尾市環境推進協議会



ポスターの前で来場者へ三ツ又沼ビオトープを紹介

上尾駅で三ツ又沼ビオトープを紹介ー環境パネル展ー

11月9日(土)、上尾市環境推進協議会主催で開催された環境パネル展にあらかわ市民環境サポーター事務局として出展し、来場された方々に上尾市内の小中学校、保育園がプロジェクトに関わっていることを紹介しました。

来場者からは、三ツ又沼ビオトープについて「よく近くを通っているが知らなかった」、「こんな自然の場所があるなら、今度行ってみたい」など話がありました。

川島町立つばさ南小学校



協力して荒川の草花を植え戻す児童たち

授業で荒川の草花を植え戻す

12月2日(月)、3年生の児童の皆さんが、地域の自然を学ぶために、三ツ又沼ビオトープを訪れました。

児童の皆さんは今年度夏と秋の2回現地を訪れており、今回は3回目。昨年10月の台風第19号上陸時に、今立っている場所は数mもの水深があったことに驚いていました。

最後に、学校で昨年の春から育てた荒川の草花キンミズヒキを植え戻しました。

上尾市立太平中学校



育てたハンノキを植え戻す科学部員

部活動で自然保護、ハンノキを植え戻す

12月25日(水)、科学部に所属する生徒が冬の三ツ又沼ビオトープでハンノキ林の再生に向けた調査を行いました。

1mm程度の小さなミドリシジミの卵を探したり、ハンノキの生育状況を確認しました。樹高を測るときは、測高ポールという普段使い慣れない道具を、頑張って使い調べていました。

最後に、学校でたねから育てたハンノキを植え戻しました。

パートナーシップによる 保安全管理や環境学習

荒川の自然を守るために、
一緒に汗を流してくれる方を
募集しております！



(一社)日本旅行業協会



三ツ又沼ビオトープを見学する
日本旅行業協会関東支部の皆さん

旅行業界の方々が荒川の自然を見学

11月6日(水)、日本旅行業協会 関東支部の会員12名が三ツ又沼ビオトープを訪れました。当日、参加者は、あらかわ市民環境サポーターの案内のもと、三ツ又沼ビオトープの魅力について説明を受けました。また、社会貢献活動の一環として、冠水したことにより園路に積もった枝や葉を取り除く活動が行われました。

旅行業界の皆さんからは、「SDGsの推進が求められる中で企業の社会貢献活動の場として三ツ又沼ビオトープは有効」との意見があがっていました。

川島町生涯学習課



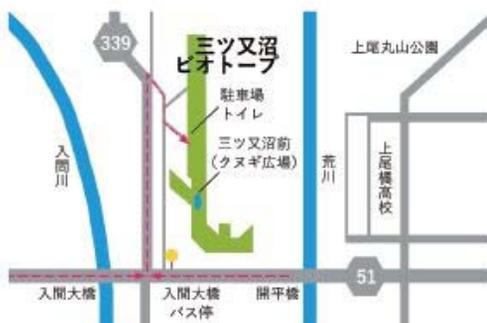
三ツ又沼ビオトープの説明を聞く参加者

健康増進と保安全管理を楽しむ - 荒川自然観察ウォーキング -

11月28日(木)、川島町生涯学習課が主催する「荒川自然観察ウォーキング」が、荒川太郎右衛門自然再生地(中池)から三ツ又沼ビオトープまでのコースで行われました。このウォーキングは、健康増進と堤外の自然に親んでもらうことをねらいとしたもので、参加者は荒川の晩秋の自然を楽しみつつ、最後には竹林の保安全管理を体験しました。

参加者からは、「遠くに行かなくとも身近に意外といい自然があるのね」「普段できない体験ができた」など、感想があがっていました。

アクセス



【三ツ又沼ビオトープ】
上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る活動や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きの方、荒川が好きの方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!